

校長	教頭

科目名	保健			教科名	保健体育
学年	1年	単位数	1単位	担当者氏名	印

1 科目「保健」について

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 健康の保持増進のためには自分自身の生活行動を選び実践することや、そのための必要な環境を改善する努力が大切なことを理解する。 我が国の保健医療制度について理解し、生涯を通じた健康課題に取り組む資質や能力を育てる。
---------	--

2 年間指導計画表

学期	1学期				2学期				3学期		
	4	5	6	7	9	10	11	12	1	2	3
1	現 代 社 会 と 健 康										
年	健康のとらえ方 (6)	健康の保持増進と 疾病構造 (8)	精神の健康 (10)		交通安全 (5)			応急手当 (6)			

3 評価について

評価の観点および内容		評価方法
関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none"> 健康を維持するために必要なことについて関心をもっているか。 仲間と協力して資料を集めたり、積極的に意見交換しているか。 	授業場面での参加の仕方や意欲・態度の観察 ワークシート
思考・判断	<ul style="list-style-type: none"> 自分のこれまでの体験や資料などをもとに、学習する課題の設定や解決の方法を考え判断しているか。 	ワークシート 提出物 発表
知識・理解	<ul style="list-style-type: none"> 個人生活や社会生活の健康や安全について、課題解決に役立つ知識を身につけているか 適切な生活行動を選び、行動することや環境を改善していく努力が大切であることを理解しているか。 	定期考査 ワークシート記入状況 提出物 発表

保健の評価は「関心・意欲・態度」「思考・判断」「知識・理解」の3観点の内容をもとに、各領域（種目）ごとに評価規準をつくり日頃の授業の中で、下にまとめた評価の方法で評価を行い「成績」の資料とします。

4 観点別学習状況の評価の数量化

評価	内 容	判定基準	得 点
A	十分に理解できると判断されるもの	80%以上	20～50
B	おおむね満足できると判断されるもの	50%～79%	15～35
C	努力を要すると判断されるもの	50%未満	10～20

※各観点別評価は各内容によって異なる。

※評価簿の作成を行う。（例：3観点別評価簿及び実際評価簿については別紙）

観点別評価簿

学期	学習内容	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解	各観点評価	観点別評価
1	私たちの健康の姿	30	20	50		
	健康のとらえ方					
	さまざまな保健活動や対策					
	生活習慣病と日常の生活行動					
	喫煙と健康					
	飲酒と健康					
2	薬物乱用と健康	30	20	50		
	医薬品と健康					
	感染症とその予防					
	エイズとその予防					
	健康に関わる意思決定・行動選択					
	意志決定・行動選択に必要なもの					
	欲求と適応機制					
	心身相関とストレス					
	ストレスへの対処					
	自己実現					
	自己実現					
3	交通事故の現状と要因	30	20	50		
	交通社会における運転者の資質と責任					
	安全な交通社会づくり					
	応急手当の意義とその基本					
	心肺蘇生法					
	日常的な応急手当					

5 使用教科書

- 現代保健体育 ノート 副教材
- 現代ノート 大修館書店

校長	教頭

科目名	保健			教科名	保健体育
学年	1年	単位数	1単位	担当者氏名	印

月	週	学習内容	学習目標	使用教材	評価方法
4月	1～3	私たちの健康の姿 健康のとらえ方	健康水準や疾病構造，さまざまな保健活動や制度について理解し適切な意思決定や行動選択ができる。 ・健康水準や健康問題の変化を学ぶ ・保健活動や医療制度，健康の保持増進の方法を調べる	一斉指導 ノート調べ学習 図書館（関連項目図書）の利用	課題テスト・出席状況・授業態度 ノート提出 期末考査
	4～6	さまざまな保健活動や対策			
7月	7	生活習慣病と日常の生活行動	生活習慣病予防のため生活実践や飲酒・喫煙に対する適切な意思決定ができる。 ・生活習慣と関連の深い病気や健康の基本を学ぶ	視聴覚室の利用 (ビデオ・DVDなど)	
	12	喫煙と健康 飲酒と健康	・喫煙の健康への影響や対策を話し合う ・飲酒の健康への影響や対策を実習する (受動喫煙やアルコール依存症)		
9月	13～15	薬物乱用と健康 医薬品と健康	薬物乱用や感染症に対する正しい理解と行動選択ができる。 ・薬物乱用の影響と社会問題を考える ・医薬品の役割と使用法を学ぶ	一斉指導 ノート調べ学習 図書館（関連項目図書）の利用	課題テスト・出席状況・授業態度・ ノート提出 期末考査
	16～21	感染症とその予防 エイズとその予防	・感染症の現状と予防対策を調べる ・エイズの課題と対策を調べ発表する ・新たな感染症問題と対策を学ぶ		
12月	22	健康に関わる意思決定 ・行動選択	精神と身体の関係を理解し，欲求やその適応機制を説明できる。 ・大脳と神経の働きを学ぶ	視聴覚室の利用（ビデオ・DVDな	

	～ 24	意志決定・ 行動選択に 必要なもの 欲求と適応 機制	・欲求と適応機制を調べる		
	25 ～ 27	心身相関と ストレス ストレスへ の対処 自己実現	心身相関とストレスの対処法について学 び自己実現に向けて努力できる。 ・心身相関とストレスの対処法を学ぶ ・自己実現の大切さを話し合う		
1 月 ～ 3 月	28 ～ 31	交通事故の 現状と要因 交通社会に おける運転 者の資質と 責任 安全な交通 社会づくり	交通社会の知識や責任を理解できる。 ・交通事故の現状と交通社会の一員とし ての自覚と責任を学ぶ	一斉指導 ノート調べ学 習 図書館（関 連項目図 書）の利用	課題テスト・ 出席状況・ 授業態度 ノート提出
	32 ～ 35	応急手当の 意義とその 基本 心肺蘇生法 応急手当心 日常的な応 急手当	生命の尊厳について学び、救急法・心肺 蘇生法を通じて正しい処置ができる。 ・心肺蘇生法や日常的な応急手当の方法 を実習し正確な処置ができる	視聴覚室の 利用（ビデ オ・DVD）	期末考査

4 5 6 7 9 10 11 12 1 2 3

50%~79% 20~50
15~35
10~20

観点別評価簿

学期	学習内容	関心・意欲・態度	思考・判断	知識・理解	各観点評価	観点別評価
1	思春期と健康	30	20	50		
	性意識と性行動の選択					
	結婚生活と健康					
	妊娠・出産と健康					
	家族計画と人工妊娠中絶					
2	加齢と健康	30	20	50		
	高齢者のための社会的取り組み					
	保険制度と保健サービスの活用					
	医療制度と医療費					
	医療機関と医療サービスの活用					
	大気汚染と健康					
	水質汚濁と健康					
	土壌汚染と健康					
	健康被害の防止と環境対策					
	環境衛生活動のしくみと働き					
	3					
食品と環境の保健と私たち						
働くことと健康						
労働災害・職業病と健康						
健康的な職業生活						

5 使用教科書

- 現代保健体育 ノート 副教材
- 現代ノート 大修館書店

校長	教頭

科目名	保健			教科名	保健体育
学年	2年	単位数	1単位	担当者氏名	印

月	週	学習内容	学習目標	使用教材	評価方法		
4月～7月	1	思春期と健康	思春期における体の発達の特徴が説明できる。 思春期の行動面・心理面の特徴が説明できる。	一斉指導 ノート調べ 学習	課題テスト・ 出席状況・ 授業態度		
	2～3	性意識と性行動の選択	性意識の男女差を性的欲求の表れかたの違いを例にして説明することができる。性に関する情報が性行動の選択に及ぼす影響について具体的な例をあげることができるようになる。			図書館（関連項目図書）の利用	ノート提出 期末考査
	4	結婚生活と健康	健康な結婚生活を営むための留意点を心身の発達の観点から説明できる。結婚生活が家族の健康づくりにどう関わっているかを説明できる。				
	5～6	妊娠・出産と健康	受精・妊娠・出産の過程が説明できるようになる。 妊娠・出産期の健康のために本人及び周囲の人々が留意すべき点をあげられる。	視聴覚室の利用（ビデオ・DVDなど）			
	7～9	家族計画と人工妊娠中絶	健康上からみた家族計画の意義について説明できる。 避妊法を選択する際の留意点を男女それぞれの立場からあげられるようになる。人工妊娠中絶の条件、人口妊娠中絶が女性の心身に及ぼす影響について説明できる。				
	10	加齢と健康	加齢に伴う心身の変化について、形態・機能の両面から説明できる。中高年期を健やかに過ごすための留意点を具体的にあげられる。				
	11	高齢者のための社会的取り組み	高齢者の生活と健康に関する現状、健康課題について説明できる。高齢社会に対応した保健・医療・福祉の連帯の意義と総合的対策の必要性を説明することができる。				
	12	保険制度と保健サービスの活用	保健行政の役割と仕組みについて説明することができる。 保健サービスの内容とその活用法について説明することができる。				

9 月 ～ 12 月	13 ～ 14	医療制度 と医療費	わが国における医療保険の仕組みを説明できる。 医療費が支払われる仕組みを自分や家族の場合を例にして、説明できる。	一斉指導 ノート調べ学習 図書館（関連項目図書）の利用 視聴覚室の利用（ビデオ・DVDなど）	課題テスト・ 出席状況・ 授業態度 ノート提出 期末考査
	15 ～ 16	医療機関 と医療サ ービスの 活用	医療機関の選び方について具体的に説明できるようになる。		
	17	大気汚染 と健康	大気汚染はどのようにおこり、どのように健康へ影響するかを、原因物質の例をあげ説明できる。		
	18	水質汚濁 と健康	水質汚濁はどのようにおこり、どのように健康へ影響するかを原因物質の例をあげ説明できる。		
	19 ～ 20	土壌汚染 と健康	土壌汚染はどのようにおこり、どのように健康へ影響するかを原因物質の例をあげ説明できる。大気汚染、水質汚濁、土壌汚染が互いに関連して健康に影響を及ぼすことを汚染物質をあげて説明できる。		
	21 ～ 22	健康被害 の防止と 環境対策	環境汚染の防止・改善への対策をあげて、説明できる。		
	23 ～ 25	環境衛生 活動のし くみと働 き	ごみ処理の過程を簡単に説明できる。 ごみ・し尿や上下水道の整備について、問題点と 対策を具体的にあげることができる。		
	26 ～ 27	食品衛生 活動のし くみと働 き	食品の衛生管理のために、行政及び製造・生産者がおこなっている対策例をあげることができる。		
1 月 ～ 3 月	28 ～ 29	食品と環 境の保健 と私たち	食品の安全性を確保するために、私たち自身ができる対策の例をあげることができる。 ごみによる環境汚染を予防するために、私たち自身ができる対策をあげることができる。	一斉指導 ノート調べ学習 図書館（関連項目図書）の利用 視聴覚室の利用（ビデオ・DVD）	課題テスト・ 出席状況・ 授業態度 ノート提出 期末考査
	30 ～ 31	働くこと と健康	働くことと健康が相互に影響することの例をあげることができる。仕事の仕方や職場環境の変化にともない、働く人の健康問題がどのように変わってきたかを説明できる。		
	32 ～ 33	労働災害 ・職業病 と健康	労働火災の防止対策として、職業と個人がおこなうべきことがらについて、あげることができる。職場における健康管理の必要性について説明し、健康管理の活動例をあげることができる。		
	34 ～ 35	健康的な 職業生活	現場の健康増進対策について説明できるようになる。 日常生活での健康増進について説明できる。		